

びるっぱ

Vol.448 2023. **11**



近森病院 近森リハビリテーション病院 近森オルソリハビリテーション病院 からのお知らせ

12月30日(土)～1月3日(水)は休診です。※近森病院救命救急センターは24時間対応いたします。

● 社会医療法人近森会は11月1日、グループ内医療法人松田会を近森会へ吸収合併いたします。



治験 のご案内

高血圧に対する 腎デナビーション 〈血管内超音波治療〉

近森病院 循環器内科 主任部長
関 秀一 せき しゅういち

高血圧治療は、薬物療法に並行し生活習慣の改善が必要で、根気よく長く続けることが必要ですが、十分に高血圧がコントロールできない場合もあります。この新しい治療は、従来の治療法に加えて、数日入院し1～2時間程度のカテーテル治療を受けることで、高血圧を良好にコントロールできる可能性があり、今、非常に注目されています。高血圧にお悩みで治験にご興味のある患者さんは、ぜひご相談ください。

放置すると恐ろしい高血圧 ～困難な治療に新しい選択肢～

コントロール不良の高血圧を放置すると、脳卒中、心筋梗塞、腎不全になる危険性が高くなるとともに、これらの病気で死亡する可能性も高くなると報告されています。特に日本人の高血圧患者では、脳卒中リスクが欧米人と比較して約2倍といわれ、血圧のコントロールがさらに重要といえます。しかしながら薬物療法、生活習慣の改善など、従来の治療だけでは十分に解決されておらず、新たな治療選択が期待されてきました。

高血圧が引き起こす合併症発症のリスク

脳卒中
3.2倍

心筋梗塞
(虚血性心疾患)
2.0倍

腎臓病
1.3倍

高血圧症をカテーテルで治療!?

交感神経は血圧調整の重要な役割を担っており、交感神経の働きによって高血圧が引き起こされます。そこで腎動脈周囲にある交感神経の遮断を目的とした、「腎デナビーション」という新しい治療法が開発されました。超音波を出す特殊なバルーンカテーテルを足の付け根から腎動脈まで進め、超音波で腎動脈周囲にある交感神経を焼灼(しょうしゃく)します。

交感神経の働きを抑えることで血圧を下げるのが期待される、この新しい治療法を腎デナビーション(血管内超音波治療)といいます。欧米においても高血圧の患者さんを対象にこの治験が行われており、これまでに良好な治療効果が報告されています。

治験にご参加いただける患者さんを募集します

この治験にご参加いただける患者さんには、いくつかの条件があります。詳しくは循環器内科外来または当院代表電話にてお問い合わせください。

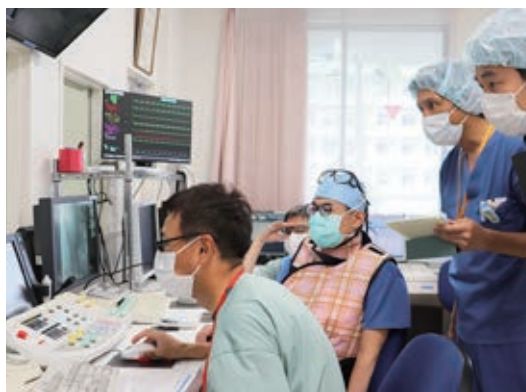
参加条件

- 20歳以上、75歳以下の方
- 高血圧症の診断がなされた方
- ご参加の4週間以上前から2種類の血圧を下げるお薬が処方されており、その処方に変更がない方
- 血圧が収縮期140～180mmHg未満かつ拡張期90～110mmHg未満の方 など、ほか条件あり

※安全に配慮するために、設けられた条件をすべて満たしている方にご参加いただきます。

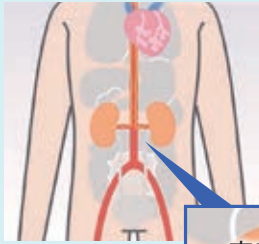
お問合せ先

088-822-5231(代表)
受付時間:平日(月～金) 9:00～12:00/13:30～17:00

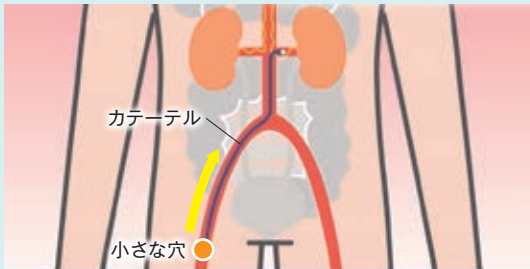
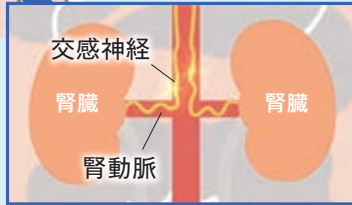


放射線技師らとデータ確認。

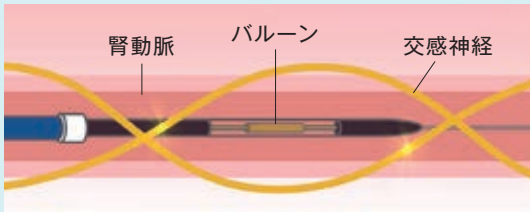
腎デナベーションの治療イメージ



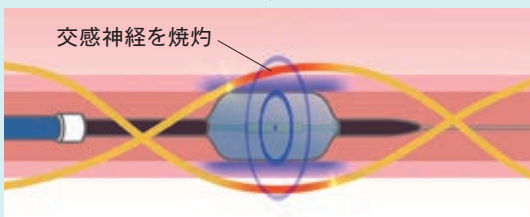
腎動脈周辺にある交感神経を焼灼することで、交感神経の働きを抑え、血圧が下がることが期待されます。



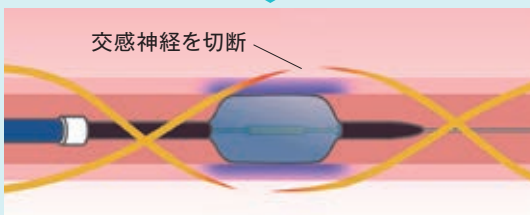
- ① 足の付け根に開けた小さな穴からカテーテルを腎動脈まで入れる。



- ② 腎動脈でカテーテルの先端部分にあるバルーンを膨らませる。



- ③ バルーンを膨らませて準備を整えた後、超音波を照射し、交感神経を焼灼する。
※同時に、超音波で腎動脈に生じた熱を、バルーン内の冷却水で冷やす。



- ④ 交感神経の切断が完了。腎臓は左右にあるため、反対側も同様に照射を行う。

腫瘍循環器外来 新設

外来日／水曜日 午前

※同外来枠でこの他、循環器一般、弁膜症、原因不明脳梗塞なども診察しています。

循環器内科医が
がんの専門医と一緒に

近森病院 循環器内科 部長 中岡 洋子 なかおか ようこ

平均寿命が
伸びて

近年、先進国では平均寿命が伸び、がん（悪性新生物）と心血管病（心疾患、脳血管疾患）が増えています。日本でも、死因の約半分ががんや心血管病に関連しています（下グラフ参照）。また、がんと心血管病が同時に起こることも増えています。



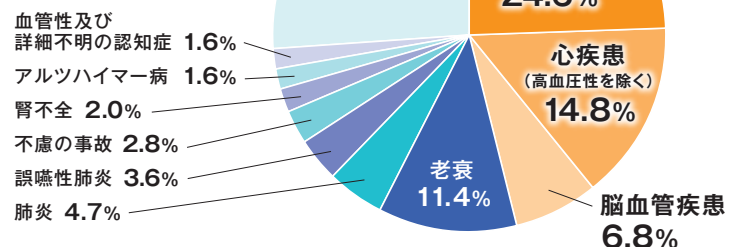
たとえば、心疾患を抱える人ががんを発症し治療が必要になる場合や、がんを克服した人が心疾患を抱えることもあります。さらに、一部のがんの薬物治療や放射線治療は、心不全や不整脈などの心疾患発症の要因になることも知られています。

がんと心臓病を総合的に

このような状況から、がんの治療を安全かつ効果的に行うために、がんの専門医と心臓の専門医が連携し、がんの治療前、治療中、治療終了後のフォローアップに至るまで総合的な管理を行う必要が出てきました。この度、院内外の医師から紹介いただけるよう、腫瘍循環器外来を開設しました。循環器内科医の立場でがん患者さんとがんの専門医をサポートしていきたいと思っています。

主な死因の構成割合
(2022年)

厚生労働省ホームページより

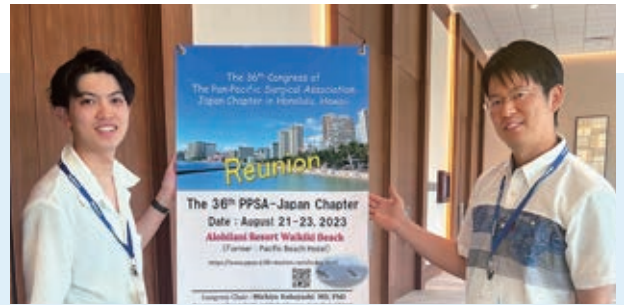


出張

PPSA-JC

2023年8月21～23日
米国・ハワイ

The 36th Congress of The Pan-Pacific
Surgical Association Japan Chapter ~Reunion~
[環太平洋外科系学会日本支部会学術集会]



廣瀬医師(左)と田井科長(右)が参加しました。

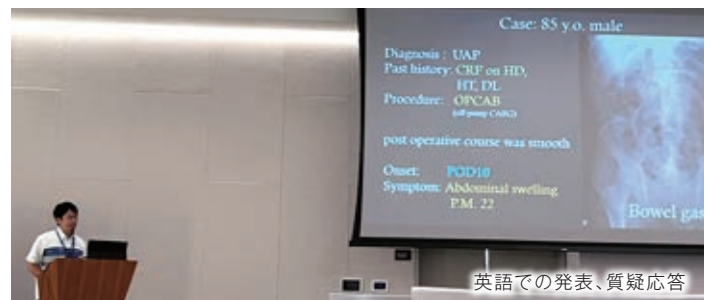
若手医師による海外発表登竜門で、 Wada Award Bronze Prizeを受賞!

近森病院 心臓血管外科 科長 田井 龍太
たいりゅうた

Wada Award Bronze Prize(銅賞)受賞

演
題

NOMI(non-occlusive mesenteric ischemia) after open heart surgery: diagnosis, background, strategy and result



英語での発表、質疑応答

若手外科医にとって海外発表のチャンス ~2020年のリベンジ!~

PPSA-JCは台湾やハワイなどで開催され、当然のことながら全て英語セッションで行われます。

主に若手外科医の海外発表の貴重な機会として位置づけられており、心臓血管外科だけでなく消化器外科や整形外科、産婦人科など多岐にわたる分野で横断的に催されます。私自身は2020年3月に開催されるはずだった第36回大会への出発を目前に控えていたところ、ご承知の通り日本でCOVID-19が流行を始め、出発数日前に学会がキャンセルとなり大変残念に思った記憶があります。

今回、世界的な感染対策の緩和もあり、Reunion(再会)として、第36回大会の開催が決まり、前回の縁もあり演題を出させていただきました。

NOMI症例を消化器外科部門で 質疑応答も盛り上がった発表に

発表内容は心臓血管外科領域におけるNOMI(閉塞性腸間膜虚血)をまとめた症例で、横断領域らしく消化器外科部門にノミネート

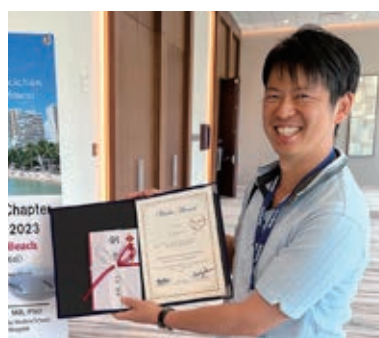
され発表を行いました。心臓血管外科領域の話でしたが、若手消化器外科医からも複数質問があり、比較的盛り上がった発表だったのではないかと自負しております。

Wada Award Bronze Prize(銅賞)を獲得!

質問が盛り上がったことも功を奏してか、なんとWada AwardのBronze Prizeを獲得することができました。Wada Awardは会の設立と発展に深く携わられた初代理事長和田壽郎先生の奥様の周子夫人により創設された賞(和田壽郎記念賞)であり、若手外科医の優れた発表に対して与えられ、Gold、Silver、Bronzeが各1名選出されます。私の発表は少しマニアックな領域でしたし、他の素晴らしい発表も多くある中で受賞できたことは大変驚きました。

ただ、賞を設立された和田周子夫人が最近お亡くなりになられたとお聞きし、賞状にもサインが空白であったことが残念でなりません。お悔やみ申し上げます。

ハワイの物価高騰や、円安の影響もあり開催自体が危ぶまれたようですが、無事催され参加して良い経験を積めただけでなく、受賞もすることができ大変思い出に残る学会参加となりました。今後も研鑽を続けていきます。





井の中の蛙 大海を知らず

近森病院 心臓血管外科 廣瀬 聡一郎
ひろせ そういちろう

演題

Mid term results of aortic replacement for aortic stenosis in hemodialysis patients

初めての海外での学会発表

爽やかな風にホノルルビーチの青い海、ダイヤモンドヘッドの壮大な風景が目に入った瞬間、コロナ禍がもたらした厳しい日々にも一つ区切りがついたような気がして感動を覚えました。この学会は、若手外科医にとって英語での発表と議論ができる貴重な機会であり、私にとっても初めての海外での学会発表でした。

大動脈弁狭窄症の透析患者さんにおける人工弁の成績と治療戦略について発表しました。英語での発表、質疑応答は難しかったものの、それが逆に刺激となり、今後の成長につながる良い経験となりました。

世界レベルの医療を学ぶために

この学会のテーマは「地域医療に貢献するグローバルな心を持つ外科医」であり、まさに「井の中の蛙 大海を知らず」という言葉が、この学会での経験にぴったりだと感じました。世界レベルの医療を学ぶためには、英語の壁を越える必要があります。この学会を通じて、その一歩を踏み出すことができたと思っています。ハワイ出身の伝説のサーファー、デューク・カハナモクのように、世界レベルの医療の大波に乗れるよう精進します。

今回の経験を糧に、近森病院のohana（ハワイ語で家族や仲間という意味）として、今後も医療に貢献していきたいと思っています。



CVIT 2023

2023年8月4～6日/福岡県

[日本心血管インターベンション治療学会 学術集会]

全国で活躍できる技師を目指し

近森病院 臨床検査部 榎本 浩之
臨床検査技師 主任 かしもと ひろゆき



経験のない全国学会の座長と演題発表で

第31回日本心血管インターベンション治療学会学術集会（CVIT2023）が福岡県で開催されました。私はメディカルスタッフ教育セッションの心電図講演で座長を務め、また一般口演Awardでは演題発表を致しました。全国学会での座長や演題発表の経験がなかったため緊張の連続でしたが、準備の段階から清水速人心血管カテーテル室室長にご指導いただいたおかげで無事に終えることができました。

メディカルスタッフ(※)の活躍

今回のCVIT2023では清水室長が一般口演Awardの座長と教育セッションやシンポジウムの講演を、放射線科の吉本典子看護師、臨床工学部の永尾彰大技士、臨床検査部の山本彩織技師、酒井愛莉技師がそれぞれポスターでの演題発表を行い、循環器の先生方だけでなく私達メディカルスタッフも活躍しました。

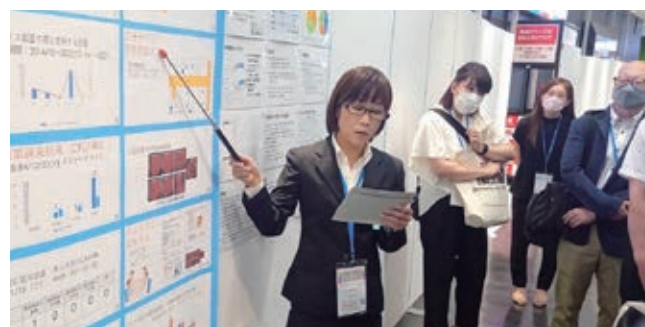
皆で切磋琢磨

清水室長が昨年3月から近森病院に入職されたことでカテ室のスタッフの意識が高まり、学会や研究会・勉強会で発表や講演をする機会が増え、皆が切磋琢磨している状況にあります。私自身もカテ室の一員として取り残されないよう日々勉強し、「全国で活躍できる技師」を目指して挑戦していきたいと思っています。

※CVITでは医療スタッフの呼称が「コメディカル」から「メディカルスタッフ」に変更された。



▲会場前で記念撮影する近森病院からの参加者ら。



▲ポスター発表をする放射線科の吉本典子看護師。

論文掲載



初めての論文投稿

近森病院 心臓血管外科
濱田 雄一郎 はまだ ゆういちろう

論文名 | 異なる2種類の人工肺で複数回流入部圧上昇をきたした1例

掲載誌 | 日本心臓血管外科学会雑誌 52 巻5号



心臓手術になくてはならない人工心肺

人工心肺は、心臓血管外科分野の手術において非常に重要な装置ですが、運用中にトラブルを生じることがあります。本論文は人工心肺のトラブルケースに対し迅速に対応できた症例の報告で、その原因を追究するとともに、人工心肺のトラブル発生時の対応策についても詳述しています。稀なトラブルではありますが、早期発見と適切な対応は患者さんの安全性に直結します。人工心肺のトラブルに関する知見をより深く、患者さんの治療に貢献できるよう、今後も取り組んでまいります。

論文の執筆を通して

この論文は私にとって初めての執筆でした。一症例報告ではありますが、初めてということもあり、その過程は大変なものでした。周りの方々の支えに恵まれ、無事完成させることができました。情報の正確性や科学的根拠の重要性を再確認し、考察のプロセスを深く考えることで、自己成長に繋がったと実感しております。また、論文執筆は専門性や専門知識を向上させるための一歩となり、批判的思考を磨く機会でもありました。このような機会を与えてくださり、ご指導いただいた全ての方々にこの場をお借りして感謝申し上げます。ありがとうございました。



学会受賞

第17回 高知県作業療法学会 **優秀賞 受賞**

演題 | 左半側空間無視と着衣障害を呈した女性の更衣動作獲得に向けて

初めての学会発表

近森リハビリテーション病院
作業療法科 作業療法士
横山 英里 よこやま えり



初めての学会発表で優秀賞を受賞することができ、とても嬉しく思います。この発表を通して回復期における生活動作獲得の重要性を再確認することができました。身体機能だけでなく高次脳機能障害との関わりを考察していく中で、疑問点が残る箇所もあるので、これからの臨床場面でも継続的に学びを深めていきたいと思っています。今後も日々勉強しながら、患者さんに寄り添えるような作業療法士を目指していきたいと思っています。

職員募集中!

一緒に働こう!

募集職種

- 医師
- 看護部
(看護師、救急救命士、介護福祉士)
- 管理部

詳しくは、近森会グループHPの採用ページをご覧ください。



ありがとう
ございました!

献血

10月19日

キャンペーン

結果

- 協力者(受付者数) 50名
- うち400ml献血ができた方 46名



今回は3月頃の予定です!

資格取得

日本臨床神経生理学会 専門医

ハンマーの延長線上で

近森病院 脳神経内科 森本 優子 もりもと ゆうこ

この度日本臨床神経生理学会専門医(筋電図・神経伝導分野)を取得しました。

神経伝導検査や筋電図検査は、手足のしびれや動かしにくさについて評価できる検査の一つです。ALS(筋萎縮性側索硬化症)などの神経変性疾患、ギラン・バレー症候群やCIDP(慢性炎症性脱髄性多発神経炎)などの末梢神経障害、重症筋無力症などの神経筋接合部疾患、また腰椎・頸椎症などの整形外科疾患の診断に用います。

試験では検査についてはもちろんですが、神経生理や解剖について細かく問われ、検査はあくまで神経診察の延長線上で行うものであると改めて感じました。

今回リウマチ・膠原病内科の吉田剛科長の指導の下で、臨床

検査部の筒井主任とともに試験に合格することができました。高知県内でこの専門医を取得している脳神経内科医は現時点で吉田科長・森本の2名のみです。まだまだ経験が浅くはありますが、患者の皆様の役に立てるよう日々努力していきたいです。



左より、筒井主任、森本医師

日本臨床神経生理学会 専門技術師

当院で初めての取得

近森病院 臨床検査部 臨床検査技師 主任 筒井 昌代 つつい まさよ

この度、筋電図・神経伝導に関する専門技術師に認定されました。筋電図・神経伝導検査は手足がしびれる、力が入らないなどの症状がある場合に行います。

針電極を用いて筋肉の活動状態を調べる針筋電図検査や、電気刺激を用いて末梢神経の伝わりを調べる神経伝導検査などを行い、障害の部位や程度を判断します。時間がかかり、痛みを伴うこともあるため、患者さんには大変な検査ではありますが、神経筋疾患の正確な診断や経過観察、治療効果をみるために重要な検査です。

代表的な疾患には、手根管症候群、ギラン・バレー症候群などがあ

ります。今回、専門医である吉田科長に後押ししていただき、専門試験に挑戦し、無事合格することができました。これからも患者さんに安心して検査を受けていただけるよう取り組んでいきたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。



歳時記

グリーンライトアッププロジェクト (10月10～17日)

毎年10月には全国で臓器移植への理解が進むよう普及啓発の取り組みが行われ、今回、近森病院では「グリーンライトアッププロジェクト」に参加しました。全国各地のランドマークや建物を移植医療のシンボルカラーであるグリーンにライトアップする取り組みです。

小さな取り組みですが、ご家族や大切な人と臓器移植や意思表示について考えたり、話すきっかけになれば幸いです。



1階救命救急センター外壁も

日本臨床神経生理学会の資格 2名取得

資格取得

心臓リハビリテーション指導士

多職種で診る 心臓リハビリテーション

近森病院 臨床栄養部 管理栄養士 間 梨奈 はざまりな

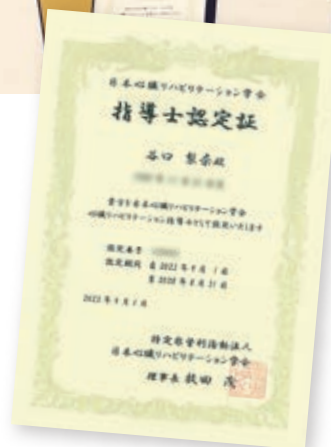
心臓リハビリテーション指導士の資格を今年は当院で2名、理学療法士と管理栄養士が取得しました。

心臓リハビリテーション指導士は日本心臓リハビリテーション学会の認定資格であり、理学療法士だけでなく、医師や看護師、薬剤師、管理栄養士など様々な職種に受験資格があります。「リハビリテーション」という運動療法のイメージが強いですが、心臓リハビリには生活指導や栄養指導、服薬指導なども含まれます。

当院では外来心臓リハビリに管理栄養士が介入して栄養指導を行っています。心不全の患者さんでも運動耐容能や活動量は個々によって異なります。それらを包括的に評価して患者さんに関わりたいと思い、今回の資格取得を目指しました。患者さんの体力向上、社会復帰を栄養面からサポートできるよう尽力していきます。



一緒に取得した
森本和加理学療法士(右)と。



日本心臓リハビリテーション学会の資格
2名取得

講演会

高知医療再生機構講演会「直腸癌診療の進歩と未来」 (2023年9月8日)

近森病院 消化器外科 主任部長 塚田 暁 つかだ あきら

9月8日に関西医科大学消化管外科の濱田円教授をお招きし、「直腸癌診療の進歩と未来」と題してご講演いただきました。消化器外科医だけでなく、消化器内科医や病棟、手術室の看護師など多くのスタッフが参加し聴講しました。直腸癌手術の歴史から最新の治療法について論文報告やご自身の経験された臨床データをわかりやすくご教授していただきました。

直腸癌手術では、CRM(circumferential resection margin)という概念が重要であり、腫瘍先進部から直腸固有筋膜までの距離が1mm未満であると局所再発が多いとされます。術前MRIでCRMが±0.5mmの精度で診断できると報告されています。また、直腸癌の術前に化学放射線療法を行うと臨床的に腫瘍が消失する症例が濱田教授の経験では11%にみられ、それらの症例は手術を行わないで経過をみるというWatch and Wait療法という最新の概念の紹介もありました。

得られた知識を今後の臨床に役立てていこうと、消化器外科一同感じました。



関西医科大学消化管外科の濱田円教授



筆者：前列左端

充実の3ヶ月間

研修期間／2023年7月1日～9月30日

手稲溪仁会病院 藤澤 怜央 先生
整形外科 ふじさわ りよお

整形外科専攻医2年目の藤澤怜央と申します。この度は後期研修の一環として、3ヶ月間研修をさせていただきました。

近森病院整形外科はAO Foundation Fellowshipの施設認定を過去に受けた事、足の外科学会の認定研修施設となっている事、カンファレンスが毎日英語で行われている事など非常に教育的な特徴のある施設というイメージでした。

一方で、研修が決まってからは不安な面もありました。普段の診療水準が高いが故に、「常にハイレベルを求められるであろう。もし応えられなければ、手術執刀の機会も与えていただけないかもしれない。ましてや、迷惑をかけるような事があってはいけない」というプレッシャーを勝手ながら感じておりました。

しかし始まってみると、先生方のバックグラウンドが様々であり派閥のようなものはほとんどないためか、診療に対する意見交換やフィードバックが活発で友好的な雰囲気だと私の目には映りました。その雰囲気のお陰で、来たばかりの私でも温かく歓迎していただいたり、初執刀であった術式のトレーニングや初めて見る術式をじっくり解説していただいたりと、非常に濃密な研修を終える事ができました。



筆者：前列中央



8月16～19日に開催された国際学会ISASS AP 2023の様子。

研修受け入れ

また、研修期間の途中で、ソウルでの国際学会も行かせていただきました。英語での発表でしたが、普段の英語カンファレンスでの質疑応答がとても活きたと感じております。

短い間でしたが、刺激的な時間を過ごさせていただきありがとうございました！

特定行為研修

実習開始

11月～



近森病院
看護師特定行為研修
指導責任者 看護師長
山脇 久男 やまわき ひさお



近森理事長による講義も。

当院で看護師特定行為研修が開講となり、今期で8年目となりました。本年度は県内外より、14名が受講しています。6月より研修が開始となり、共通科目が9月で修了しています。

10月から、より専門的な各区分別科目の講義・演習が開始となりました。区分別科目では模擬授業や演習を中心に、指導医と共に授業を行っています。

11月からは実習が始まり、1月末で修了する予定です。

まだまだ新型コロナウイルス感染症についても油断ができないため、本年度も感染対策をとりながら実習に臨みたいと思います。実習が3か月間と長期間となりますが、何卒ご協力のほどよろしくお願い致します。

2023年度
コース別受講者数

No.	コース名	受講人数
1	栄養コース ※1名気管カニューレ交換、PICCを含む	2名
2	創傷コース	4名
3	麻酔コース	2名
4	外科系基本コース	2名
5	集中治療コース	2名
6	救急コース	2名
合計		14名

医食同源を目指して がん治療サポートチーム 活動しています!

連載／前編

近森病院 糖尿病・内分泌内科 部長 浅羽 宏一
あさば こういち



抗がん剤の副作用を少なくして、美味しくご飯を食べて

こんにちは、がん治療サポートチームです。今日は皆さまに私達の活動をお伝えしたくて「ひろっば」に記事を書いています。日頃、点滴センターで抗がん剤の点滴をしている患者さんに、浅羽が漢方薬やビタミン剤を投与し、内山が栄養指導(食養生)を行い、がん患者さんの治療をサポートしています。元気で楽しく生活していただくためには、抗がん剤の副作用を少なくして、美味しくご飯を食べて、体重(筋肉)を減らさないことが大切だからです。

糖尿病内科の医者がどうして?

糖尿病内科の医者が「なぜ、がん治療のサポートをしているの?」と疑問に思われるかもしれません。実は糖尿病の運動食事療法とがんの運動食事療法はほぼ同じだからです。

がん治療の基本は、

① 糖質を制限する

② 肉を減らし野菜を多く食べる

③ 体を良く動かす

この3つです。如何ですか?糖尿病治療と同じですよ。

また、サポートチームが活動しているのは、がん治療が高度かつ複雑になったため、手術をする医師や化学療法をする医師が、食事運動療法の治療をする時間がないためでもあります。医学がどんどん進化しているため、手術・化学療法と食事・運動療法を分けて(分業して)治療する必要が出てきたのです。

ご存知ですか、がん患者さんのお食事療法

がんの食事療法も進歩しています。菓子パン、缶コーヒーはがんの食事療法では禁止ということはご存知でしたか?キャベツやブロッコリーは、がんの食事療法として取り入れる食材であるをご存知でしたか?

このように日々進歩するがんの食事療法を管理栄養士の内山が指導し、患者さんの日々の食事の相談にも応じます。体重を減らしてはダメです。免疫力・体力が落ちるからです。野菜を中心に蛋白質もしっかり食べて体重を維持しましょう。



具たくさん味噌汁

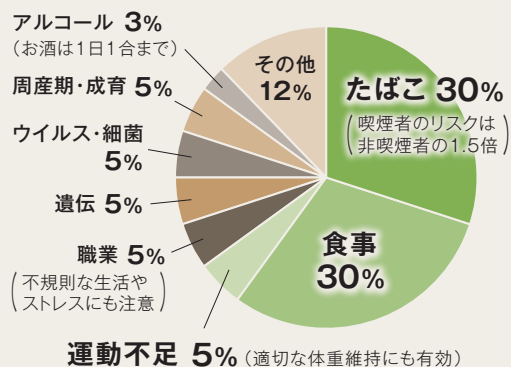
キャベツやブロッコリーをはじめとするアブラナ科野菜は、がん抑制や予防が期待できる成分を含有しています。大根や白菜などもアブラナ科野菜です。具たくさん味噌汁やスープは、いろいろな野菜や食材を一度に摂れるのでおすすめです。

● 調理…内山里美副部長

▲ がん治療サポートチーム

左:臨床栄養部 副部長 内山 里美、右:筆者

がんを発症させる原因と考えられているもの



※ハーバード大学がん予防センター(1996年)「米国人のがんの原因」

がんを予防する食物



※アメリカの国立がん研究所 デザイナーフーズ・ピラミッド

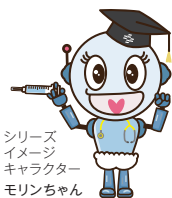
クイズ

がん発症のリスクを下げる缶詰は?

- ① 鯖缶
- ② 鯨の大和煮
- ③ シーチキン



答えは
14ページ



すまいる♥ナース通信

#認定看護師

糖尿病患者の重症化予防に向けて

～血管病調整看護師の活動開始～



近森病院 入院センター 看護師 主任
糖尿病看護認定看護師

岩井 千代美 いわい ちよみ

糖尿病患者の重症化予防を目標に継続的かつ、効果的な生活指導体制の構築を目的として県下13の基幹病院で「血管病調整看護師」が育成されました。治療中断やコントロール不良になりやすいハイリスク者の減少に向けて、

当院では院内外の体制構築から開始します。

まず入院時にスクリーニングを行い、対象者は糖尿病センターへ連絡。入院中または退院時に糖尿病教育や退院時指導を行い、退院後は外来に繋ぎ看護介入を継続。他院フォローの際には糖尿病患者看護サマリーで情報提供を行い、地域病院・施設との連携を考えています。

現在は3人の血管病調整看護師のみでの活動ですが、今後は病棟・外来、他職種含めチーム医療で取り組んでいきたいと考えています。



左より、糖尿病センター 田中主任、筆者、内科外来 伊與田看護師



対象者

- ① HbA1c:8.5%以上
- ② 初めて糖尿病と診断された、また糖尿病未治療
- ③ 糖尿病治療中断歴がある
- ④ 糖尿病ケトアシドーシスなど高血糖や重症低血糖で入院
- ⑤ インスリン初回導入

「病院広報アワード2023」で 企画賞、CBnews賞 受賞!

ひろっぱ編集委員 一同

CBnewsが主催する「病院広報アワード2023」で、当「院内広報誌ひろっぱ」が、広報誌部門で企画賞、CBnews賞(*)の2つを受賞しました。

「病院広報アワード2023」は、全国の病院広報事例を集めて共有し、優れた病院を表彰する取り組みで、今回が初めての開催でした。

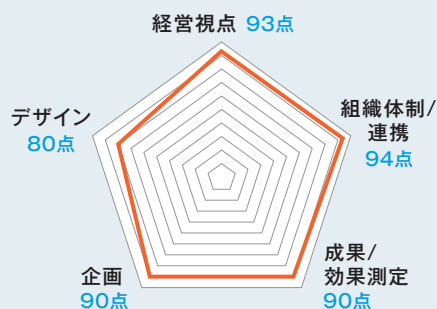
編集部では、「毎月色んな記事を、これだけたくさん載せている院内広報誌は『ひろっぱ』だけ!」と自負しておりましたが、客観的な評価を受けてみたいと思い応募しました。残念ながら大賞ではありませんが、「血の通った広報活動をされていることが、広報誌から伝わってきます。どの情報も大切に、コロナのクラスターも含め適切な情報開示に努めていらっしゃる広報姿勢についても高い評価です。(一部抜粋)」と審査員からのコメントもいただき、各部署のスタッフと一緒に作るが故の現場感や距離の近さが伝わっているのではと振り返ることができました。

これからも引き続き、皆さんと一緒に近森会グループの今を発信していきたいと思えます。どうぞよろしくお願いいたします!

※報道メディアの視点から見て優れているものに贈られる賞。



各審査項目の点数



※「病院広報アワード」(CBnews主催)のフィードバック資料を基に作成。

●医療情報専門サイト「エムスリー(m3.com)」で院内広報誌「ひろっぱ」が取り上げられました →





第9回 —看護のこころをつなぐ—

CHNS 誓いのセレモニー

2023年9月15日



※CHNS…Chikamori Hospital Nursing School

今年のテーマ

元気笑顔折れない心

それぞれが理想とする 看護師を目指して

近森病院附属看護学校 1年生
山崎 くるみ やまさき くるみ

入学して半年がたちました。授業では看護師として必要な基礎・専門分野の学習に励む毎日です。

いよいよ私たちにとって初めての臨地実習が近づいてきました。

誓いのセレモニーでは、9期生42名全員が初めての臨地実習へ向け、その姿勢や自分たちが目指す看護師像を宣誓しました。自分が思い描いている理想の看護師になるため、胸に抱いている目標や信念を今、より強く感じています。

誓いのセレモニーは、会場設営やキャンドル台のデザイン、式典中のBGM、ご参加いただいた方へお渡しするお花、親睦会の準備や進行に至るまで、実行委員のメンバーを中心に1年生が自分たちで試行錯誤を重ねて作り上げたものです。私たちの「元気、笑顔、折れない心」というコンセプトを表現し、「笑顔で患者さんと接し元気づけ、折れない心をもった看護師になる」ことを全員で誓いました。

10月からの基礎看護学実習Ⅰでは、あらゆることを吸収していく姿勢で臨みます。理想とする看護師になるため、9期生全員が誓いを胸に一丸となって邁進し続けていきます。



学生の「主体性」で作上げた セレモニー

近森病院附属看護学校
1年生主担当
永倉 和希 ながくら わき

今年の誓いのセレモニーは、コロナ禍前の形式で多くのご来賓や保護者、近森会グループの皆さま、在校生、教職員に見守られ挙行することができました。

誓いのセレモニーの準備は、目的や意義を理解した上で、学生が主体的に進めていくことを大切にしています。キャンドルを用いた形づくりでは、「心電図とハートのつながり」を表現していました。これは、医療・福祉・介護の一員となる決意、そして、人の心、健康、生活を社会につなげていくことができるような看護を目指すことを表したものです。学業と両立しながら、限られた時間での準備は想像以上に大変であったと思いますが、計画的に、そして最後まで妥協せず協力しながら取り組んでいる学生たちの姿に頼もしさを感じました。

当日は、緊張もあったと思いますが全員が精いっぱい力を出し、心に残る誓いのセレモニーになったと思います。「学生と臨床の輪をはぐくむ会」での学生たちのほじける笑顔が印象に残っています。10月から病院での臨床実習が始まりますが、宣誓した言葉を忘れず、自分なりの看護観を養ってほしいと思います。



▲ 実行委員メンバー



▲ キャンドルによる形づくり



▲ 学生と臨床の輪をはぐくむ会（親睦会）

熱烈応援 昇格人事

一歩ずつ前進

診療支援部 企画課 主任 山川 葉子
やまかわ ようこ

企画課では、主にデータ集計などを担当してきました。この2、3年はコロナへの対応や、学会の事務局など業務は多岐にわたり、毎日手探りの状態でした。

これからも学ぶことが多いですが、診療支援部として現場の皆さんに数値的根拠も示しながらしっかりサポートできるよう努めてまいります。

ハッスル研修医

いつでも話しかけてください

初期研修医1年目 堤 明日香
つつみ あすか

高知出身、高知育ちで大学6年間で愛知県で過ごしていましたが、地元が大好きで就職を機に高知へ帰ってきました。様々なご縁があり近森病院で働かせてもらっていることに感謝しております。

研修生活は早くも半年を超えましたが、まだまだ分からないことだらけで、社会人としても医療人としても学びの多い充実した日々を送っています。4月に比べると出来ることも増えて、少しずつですが仕事が楽しいと思える瞬間が多くなりました。

特に、最近は顔を合わせたことのある職員さんが増えてきて、声をかけていただき親しくしていただけることがとても嬉しいと感じています。時には趣味の話から意外な一面を知ることもあり、皆さんともっともっと仲良くなりたいと思っています。

勉強して自分の知識・スキルを磨くとともに、職場で親しみやすい医師になりたいと思います。これからも精一杯頑張りますので、どうぞよろしくお願いいたします。

New face

ニューフェイス

- ① 所属 ② 出身地 ③ 最終出身校
④ 卒業年次 ⑤ 趣味など

田中 智規

たなか ともき

- ① 消化器外科医師
② 愛知県名古屋市
③ 高知大学
④ 2018年
⑤ 1年9ヶ月ぶりに

戻って参りました。
趣味は旅行と筋トレです。日々腰痛と闘っております。

久手堅 憲太

くでけん けんた

- ① リハ病院 リハビリ
テーション科医師
② 沖縄県那覇市
③ 琉球大学
④ 2018年
⑤ 沖縄県出身で千葉県、宮城県を経て

この度こちらでお世話になります。趣味は水泳とアウトドアです。

桐原 志保美

きはら しほみ

- ① 循環器内科医師
② 福岡県
③ 長崎大学
④ 2020年
⑤ 半年間、近森病院

で多くの事を学びたいです。よろしくお願いします。

今月、
最終回です

今月のちかもり食 — エームサービス株式会社 —

【いのちのスープ】 さつまいものポタージュ 9月12日(火)

「いのちのスープ」イベントとして「さつまいものポタージュ」を提供いたしました。のどごし良く食べられるように、丁寧に漉しながら作っています。さつまいもの甘さが出てとてもおいしく、ホッとスーパにするスープに仕上がりました。

「スープサービス」について
詳しくはこちらから →



いのちのスープは病棟での提供前に職員試食会を開催しています。



リレーエッセイ

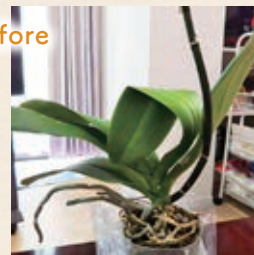
幸運を運ぶ花

健康管理センター 事務 藤野 朋子

ふじの ともこ



Before



After

皆さん、胡蝶蘭を贈られたことはありますか？豪華で品のある胡蝶蘭は見ているととても幸せな気持ちになりますよね。胡蝶蘭の花言葉は「清純」「幸福が飛んでくる」だそうです。また、鉢植えには「根付く」という意味があり、「幸福がこれからも続きますように」といった思いを込められるので、お祝い事の際によく贈られるようです。

近森病院が75周年を迎えた際には超!!豪華な胡蝶蘭の鉢植えがあちらこちらに飾られていました。胡蝶蘭は一般的に1カ月程度花を咲かせ、そのあとゆっくりと花がしおれていきます。きれいに開花した状態でしばらく癒しを与えてくれる胡蝶蘭ですが、水や温度、肥料や植え替えといった管理が難しく、次の花を咲かせるのはなかなか難しいそうです。

実は、75周年記念が落ち着いた頃の昨年5月末、「ご自由にお持ち帰り下さい」と、花が終わった胡蝶蘭の株が置かれていました。1株頂いて帰りましたが、ついに今年の初夏に立派に咲いてくれましたので報告します！（まあ咲かせたのは私の母ですが。笑）



私の趣味



後悔を糧にして

四国管財株式会社
近森病院 清掃

武内 良太 さん

たけうち りょうた



ジムなどに通っている訳では無いですが、3年ほど前から筋トレをしています。始めたきっかけは「アクアマン」という映画のアクションシーンを見たことでした。主人公のアーサーのたくましい上半身を見て「カッコよすぎる!こんな風になりたい」と率直に思いました。

始めた当初は少しの運動ですぐにギブアップしていましたが、少しずつセットを増やしたり走る距離を伸ばす内にモチベーションが上がり、徐々に筋肉がついてきてそれが次のトレーニングの糧になりました。

しかし一度、現状に満足して筋トレの頻度を減らした時期があります。筋肉を育てるための睡眠時間を減らし、完全に断っていた間食も再開しました。あっという間に元の体に戻り、「続けていれば今頃もっと…」と激しく後悔しました。

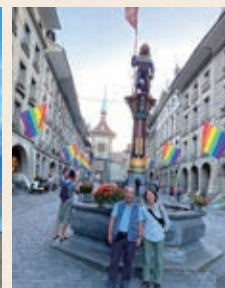
「継続は力なり」と言いますが本当にその通りで、現状に満足することは一時停止ではなく、ゆるやかな後退だということに気づきました。今はまたアーサーを目指して筋トレを頑張っています。仕事中は体のどこかしらが筋肉痛になっています。

FREE 私の○○

まるまる
○○にフリーワードを入れて
語っていただきましたルツェルンの
カペル橋私の
「スイス絶景旅行」近森病院 循環器内科 部長
浜重 直久 はましげ なおひさ

コロナ禍後初の海外旅行でスイスに行ってきました。サンモリッツ（ベルニナ急行、氷河特急）、ツェルマット（マッターホルン）、シャモニー（モンブラン）、ベルン、ヴェンゲン（アイガー、ユングフラウ）、ルツェルン（ピラトゥス山）とかけ足旅行でしたが、天候にも恵まれ絶景を楽しんできました。フランス・ドイツ・オーストリア・イタリアなど大国の狭間の九州より小さな国で、中立を維持しながら、19世紀後半から観光立国を目指し、豊富な鉄道網と1,700以上のケーブルカーやロープウエー、地球一周分以上のハイキングコースなど、高齢者や障害者でも気軽に絶景を楽しめる環境を整備してきたスイス人の努力に敬意を表します。

ヒッチハイクでまわった半世紀前とほとんど変わらぬ街並みや景観の維持にも頭がさがります。今は1スイスフラン170円（3年前は113円）の円安でピッツァ1枚5,000円という物価高で大変ですが、旅好きにはいつかは訪ねてほしい国のひとつです。



左より、ツェルマットとマッターホルン、ピラトゥス山頂から望むユングフラウ連山、ベルン旧市街

保育室「そと」から ポスターのプレゼント!

園児の手形、足形で飾られた応援ポスターをいただきました。小さな手足の形は、まさにアート!今月から毎月1枚ずつ、ご紹介していきます。どうぞお楽しみに!



小さな手と足でいっぱいスタンプ
ありがとう。皆の笑顔を守るために、
これからもがんばるよ!



職員対象

乳がんバス検診

受診率向上に向けて、
より受けやすい機会を

2023年10月3~4日

乳がんバス検診を近森病院玄関前にて実施し、2日間で115名の方が検診を受けました。次回11月9日には49名の検診を予定しています。

検診を受けられなかったスタッフも、サイボウズの電子申請にて、こちらの自己検診用プレストセルフチェッカー(右)をもらえます。

次回検診: 11月9日(木)



看護学校 消防訓練

2023年9月26日

近森病院附属看護学校 事務長代理 中山 潤一 なかやま じゅんいち

看 護学校で本年度2回目の消防訓練を行いました。

今回は、消防署立ち合いのもと、教職員14名、学生123名が参加し、避難や通報、初期消火などの訓練を実施しました。

避難訓練では、実際に屋外階段を使って小川町公園まで避難を行い、火災発生時に自分の身を守るために、こういった行動が必要かを学びました。その後、9月29~30日にある学園祭に備えて、水消火器で消火器の使い方を再確認しました。

参加者は、訓練に真剣な表情で参加していました。今後も不測の事態に備えて訓練を行っていききたいと思います。



編集室通信

先日、今年初のアユの塩焼きを食べた。天然ものの特有の精悍な顔立ちで胸ビレ後ろの黄色い斑点が美しいフォルムを際立たせていた。9月の鮎だが脂のりがよく、「わた」まで香しく、まさに香魚と呼ぶにふさわしい味わい。そんな高知の鮎だが、久方ぶりに通常開催された利き鮎会で一次審査落ち。1位になった馬瀬川(岐阜)の鮎はどれほど美味しいのか食べてみたい。
くまごろう

診療数

令和5年9月

—— 電子カルテ管理課 ——

● 近森会グループ

外来患者数 16,620人
新入院患者数 1,082人
退院患者数 1,116人

● 近森病院(急性期)

平均在院日数 11.18日
地域医療支援病院 紹介率 103.52%
地域医療支援病院 逆紹介率 351.76%
救急車搬入件数 581件
うち入院件数 317件
手術件数 591件
うち手術室実施 362件
うち全身麻酔件数 251件

植木 美佐

Misa Ueki

総合心療センター 医療相談室 主任
ソーシャルワーカー
社会福祉士／精神保健福祉士

聞き手／ひろっぱ編集部



あきらめない
ソーシャルワークの
力を信じて

暇さえあれば、寝ていたい

「のび太くんは0.93秒で寝られますが、それに負けないくらいすぐ寝られる」という植木主任。プライベートでは三人娘の母である。平日の起床は午前5時。休日もお子さんの部活（早朝7時集合）に合わせて行動開始というから、横になった途端スイッチオフになるのも無理はない。

高知の“なんちゃやない”風土が気に入って

出身は愛媛県。関西の福祉系大学に進んだ後、新卒で近森病院へ。祖父母が旧吾北村に住んでおり、小さな頃から姉と二人でバスに乗ってよく遊びに来ていたのが高知との縁である。「私は神経質なところがあるんですが、小さなことを気にしない高知の“なんちゃやない”精神が心地よく、高知で就職しようと。それと、近森のキャッチフレーズ『救急から在宅まで』という言葉にも促されました」。患者さんの人生に寄り添えるフィールドでの実践に魅力を感じ入職したようだ。

独身時代は大学の友人と吹奏楽のバンドを組み、施設を巡回していた。写真は、自身の披露宴（牧野植物園にて）で友人とともにトロンボーンを演奏している様子。



あっという間の20年、まだ道半ば

大学の実習で初めて精神障害者が置かれている環境を知った。長年、社会から隔離収容されている人がいることに衝撃を受けた。実習後に担当教員から「この現実を見た君はこれからどう行動しますか？」と投げかけられ、「社会的入院」の解消を担う精神保健福祉士（※）としての重い責任を感じたという。

そこから20年、精神疾患は身近な病気と捉えられるようになったが、まだまだ偏見は根強く、制度やサービスの壁にぶつかる。「でも私たちがあきらめたら終わり。どのようなサポートがあれば在宅生活を継続できるかを患者さん一人一人から教えてもらってきました。それに、心療センターの同僚は“聴くプロ”なので相談しやすい。ドクターもチームを信頼して挑戦させてくれます」と振り返る。

今も、難しい案件を抱えていそうな雰囲気だったが、一方で「再発して強制入院を繰り返していた方が、誰もが不可能だと思っていた一人暮らしを地域で続けているのが嬉しい」と笑顔を見せた。

ラジオを聴いて大笑い

昔からラジオ好き。耳から入る他人の会話で気分を切り替えるのがリフレッシュ法という。最近はポッドキャストで『安住紳一郎の日曜天国』や『OVER THE SUN』をイヤホンで聴きながら家事をするのが楽しく、突然笑い出しては家族を驚かしているとか。

通勤中には音楽も聴く。主にインストルメ



ンタルで、お気に入りには「ADAM at」。携帯にはオリジナルプレイリストがあり、ここ一番の時にテンションをあげる勝負曲なども組み込まれている。

Nothing about us without us

「私たち抜きに私たちのことを決めるな」。これは、障害者権利条約のスローガンである。「主体性が失われがちな精神医療で、患者さんやご家族の状況を理解し、自ら解決する力を引き出せるように関わり、“自己決定”につなげていく。ソーシャルワークにはその力があると思っています」と説明を加えた。

最後に抱負を尋ねた。「今後、強制入院の見直しや、入院医療に頼らない在宅医療に国がシフトしていく可能性に期待し、新しい潮流に乗るために常に自己錬磨を続けたい。また、その時に備えて後進育成にも力を入れたい」と。

日本の精神科医療が変わるとしたら、このような明確なビジョンと、思いの集合体のチカラしかない。穏やかな表情から漏れる闘志に心が動かされた。

※精神保健福祉士…1997年に始まった、精神保健福祉分野のソーシャルワーカーの国家資格。

